

◆ 『Intelligence』 購読会員の皆さまへ：ニュースレター

No.23 (2015年1月号) ◆

新年明けましておめでとうございます。20世紀メディア研究所の事務所も20世紀メディア研究会の会場も新3号館へ移り、心機一転、新たな意気込みで今年も精進して参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ご愛読の会員の皆さまには、これまで通り、ニュースレターとともに、「Intelligence」会員専用ウェブサイト <http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> とあわせてご覧いただければ幸いです。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

【第88回20世紀メディア研究会】(12月13日(土)午後2時半～5時半)

・田村紀雄(東京経済大学名誉教授)『日本人移民はこうしてカナダ人になった』を書き下ろしては、刊行されたご自身の著書のねらいやその背景などを、カナダでの日系人労働組合の貴重な資料、特に梅月高市が収集し記録し保存していた資料群に基づき、お話し下さいました。

・ドン・マントン(Don Munton)(関西学院大学客員教授・Visiting Professor of Canadian Studies, Kwansei Gakuin University)「世界の国立公文書館で探り出すカナダの秘密のインテリジェンス史 "Discovering Canada's Secret Intelligence Past in the National Archives of Canada, the UK, and the US"」は、キューバ危機に関する研究を進める中で発見した公文書の文章の一部から、それまで知られていなかったカナダのインテリジェンス活動を示す文書を探り当て、関係者にインタビューし、その実態を明らかにしていく過程を、話して下さいました。

※ なお、研究会当日に配布されたレジュメは、会員ホームページにアップされています。<http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> をご覧下さい。

●次回の20世紀メディア研究会は、1月31日(土)で、羽生浩一さん、上田学さん、下田太郎さんがご報告の予定です。その後は、2月28日(土)、3月28日(土)を予定しており

ます。なお、NPO インテリジェンス研究所による諜報研究会は 5 月に開催予定です。また、ご報告御希望の方は、20 世紀メディア研究所事務所 m20th@list.waseda.jp まで、メールにてご一報下さい。

【コラム：変わりゆくワシントンの風景】

米国国立公文書館（NARA）での調査のため、ワシントン DC を訪問した。10 ヶ月ぶりとはいえ、風景の大きな変化を目の当たりにした。これまで 4 路線であったメトロ（地下鉄）に、シルバー・ラインが加わった。部分開業ではあるが、いずれダレス空港まで乗り入れることになっている。現時点でも、ダレス空港までのアクセスは、ずいぶんと改善された。何よりも大きな変化は、シルバー・ライン沿線で、凄まじいスピードで開発が進んでいることである。オフィスと住居を兼ねた複合ビルの建築ラッシュは目を見張るものがあった。ビルの新築工事は、ワシントン DC やヴァージニア、メリーランドでも見られた。改めてアメリカ経済の順調な回復ぶりを見せつけられた。

NARA の位置するカレッジパークも大きく変化している。新たに就任したメリーランド大学の学長は、カレッジパークを東の「シリコン・バレー」にするとの計画を打ち出した。ベンチャー企業家や IT 企業が集まる一大拠点にしようというものである。実際、理系を中心としたメリーランド大学の建物が、相次いで建築されている。

一方、NARA では、これまで通り、多くのリサーチャーが紙の資料を黙々とめくる、変わらない風景が広がっていた。だが、変化の波は、NARA にも着実に押し寄せている。70 年代半ば以降に進んだ電子化された資料について、どのように公開するか。公開の仕方をめぐって、NARA にも変化が迫られている。これは、日本の公文書館も直面している切実な問題である。

ワシントンの変わりゆく風景を見ながら、今後、私たちの資料調査のあり方も変化するかもしれないと感じざるを得なかった。

[1月6日付文責：小林聡明]